

町民の声を大切に、 突破力で切り開くまちの未来

令和8年3月5日任期満了に伴う町長選挙において、安川茂伸町長が再選され、二期目の町政運営がスタートしました。町長が思い描くまちの未来とは？ 今月号の広報うみでは、一期4年間のあゆみを振り返るとともに、今後4年間の展望についてお伝えします。

一期4年間のあゆみ

宇美町に生まれ育った人、住んでいる人、関わる人すべてが「このまちが、いい。」と思える宇美町をめざして、4年間の中で5つのビジョンをもとに、さまざまな施策を行ってきました。

01 「ふるさと宇美」を誇りに思える ようなまちづくり

・町民が町に誇りと愛着を持てるよう、次の100年に向けてさらに魅力あふれる宇美町を創造していくことを目的に「宇美町民憲章」を制定
 ・宇美町の豊かな自然や貴重な歴史・文化的資源、伝統を生かし、広くPRするため観光パンフレット「ぶらり、うみまち」や歴史に特化した「歴史ロマンの旅ガイドブック」を刊行



03 保健・福祉が充実した まちづくり

・長く続いたコロナ禍や物価高騰による町民生活を支えるため、**上水道料金の減免**や**学校給食費等負担軽減**、**生活応援地域商品券の発行**などを実施
 ・「**高血圧ゼロのまち**」をめざし、日本高血圧学会からモデルタウンの認定を受け、官民連携で生活習慣病予防の取組



04 あらゆる災害に強い 安心・安全なまちづくり

・災害時に**避難所となる武道館に空調設備を導入**
 ・スムーズな避難所開設や物資の提供などについて、民間企業との協定締結を通して、**官民連携での災害対策を強化**

05 快適な移動が可能となる まちづくり

・町内での移動を快適にするため「**AIオンデマンドバス**の導入」。子どもから子育て世帯、免許を返納された人など幅広い年代に利用されています。



財源確保

安川町長は「やりたい施策があっても、財源の裏付けがなければ実施できない」との思いで、財政基盤の強化に取り組む、特に、ふるさと納税と企業版ふるさと納税に力を入れてきました。

〔令和7年度の状況〕

・ふるさと納税…組織体制の強化、新たな返礼品の開発を通じて過去最高額の**17億6,000万円を突破**。

・企業版ふるさと納税…**4,960万円**

〔就任当初(令和4年度)からの変化〕

・基金(町の貯金)…約28億円⇒約42億円(**約14億円の増**)

・地方債(町の借金)…約98億円⇒約84億円(**約14億円の減**)

4年間で転出者より転入者が多い転入超過となり、
宇美町は**選ばれるまち**となっています。

所信表明～これからの4年に向けて～

このたび、引き続き町政のかじ取りを担わせていただくこととなりました。町民の皆さんの信託の重みを胸に、改めて身の引き締まる思いです。

私は就任以来、「ふるさと宇美を誇りに思えるまちづくり」を基本に5つのビジョンを掲げて、現場に足を運び、声を聴き、スピード感をもって一つひとつの課題に取り組んできました。二期目の町政運営にあたっては、その5つのビジョンをもとに、変化に耐える「守り」と、未来を切り拓く「攻め」を両立させ、町民の暮らしの安心と、宇美町の持続可能性を確かなものにしていきます。

01 「ふるさと宇美」を誇りに思える ようなまちづくり

・町が誇る文化財など、町特有の歴史的資源を生かしたまちづくりを推進するため、その資源を守り伝えてきた人と共働り、文化観光や郷土愛を育む教育などの施策を展開していきます。
 ・町民の皆さんと一緒に地域の課題を解決し、ともにまちづくりを行う「共働り事業提案制度」を引き続き実施します。

02 こどもを安心して産み育てることが でき、新しい時代に対応した教育を 受けることができるまちづくり

・子育て施策は、本町の最重要施策として取組を強化していく方針です。小学校給食費の無償化、保育料の第3子以降無償化、小・中学校体育館のエアコン整備、校舎のLED化などに取り組みます。

全国で初めて妊産婦応援事業を電子クーポン化し、複数の支援サービスを一体的に利用できる取組を開始します。

※詳細は4～5ページをご覧ください。

03 保健・福祉が充実した まちづくり

・医療情報等分析事業で得た情報をもとに策定した「宇美町医療費適正化推進計画」に沿った取組を展開します。

・町民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、脳にいいアプリ(※13ページをご覧ください)などを活用し、引き続き医療・保健・福祉サービスの充実を図ります。

04 あらゆる災害に強い 安心・安全なまちづくり

・災害時に清潔な洋式水洗トイレを速やかに提供するトイレトラックの整備を進めるなど、災害が発生しても、被害を最小限に抑えるために、引き続き、防災・減災体制の一層の強化を図ります。

05 快適な移動が可能となる まちづくり

・AIオンデマンドバス「のーと宇美」は、導入から3年が経過しました。今後は、さらなるニーズや課題に対応するため、運行形態の見直しなどを行っていきます。

・フル規格のスマートインターチェンジの設置に向けた取組や主要地方道や都市計画道路等の道路改良事業の早期完成促進についても引き続き行っていきます。

時代が急速に変化する中においては、新たなことに挑戦し続けなければ、町の発展はありません。今後も、新たな挑戦を続け、「未来を見据えた施策」を実行します。

そして、「このまちが、いい。」と選ばれる町をめざして、決断力を最大限に発揮しながら、スピード感をもってまちづくりに取り組んでいきます。

町ホームページ 町長の部屋の「所信表明」にて宇美町議会3月定例会にて行った所信表明を掲載しています。



町ホームページ

